# 拠点無線式列車制御システム

## *無線技術を活用した閑散区間向け列車制御システム*

### 概要

電子閉そく装置からの移行性と、段階的な機能向上を実現した列車制御システムです。

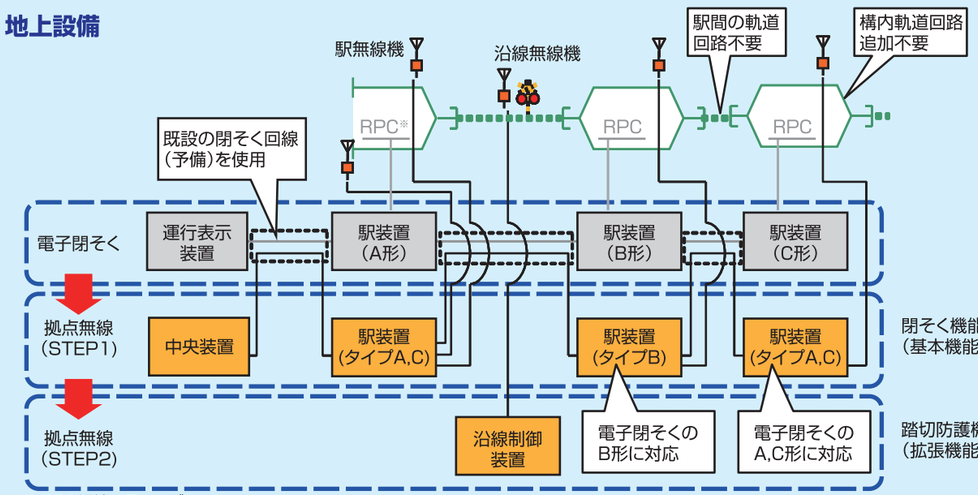
無線地上設備を駅構内に設置することを基本としており、既存設備を活用できるメリットがあります。

### 特長

- **システム導入の負担を軽減**
  - ・無線局免許が不要な汎用周波数帯2.45GHz ISMバンドを使用。
  - ・既存設備を活用でき、早期導入が可能。
- **指令員、係員の負担を軽減**
  - ・無線機は当社CBTC(SPARCS)にも使用している、位置測距機能を保有した専用無線機を採用。
  - ・車載器のフレキシブルな運用・早発防止機能・保守モニタ機能(駅装置のモニタ)を実現。
- **乗務員の負担を軽減**
  - ・車載器の扱いが不要(測距機能により車載器ID自動割当)。
- **機能向上**
  - ・ATS-Xの接続により、踏切防護機能を付加することが可能。

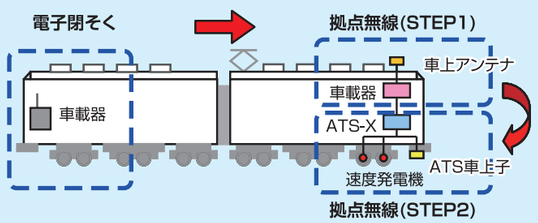
### 設備更新イメージ

#### 地上設備

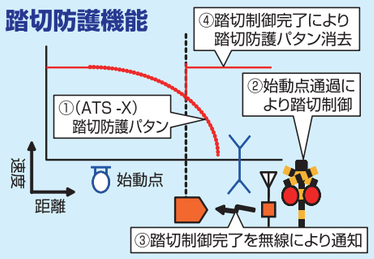



※RPC:漏洩ペアケーブル

#### 車上装置



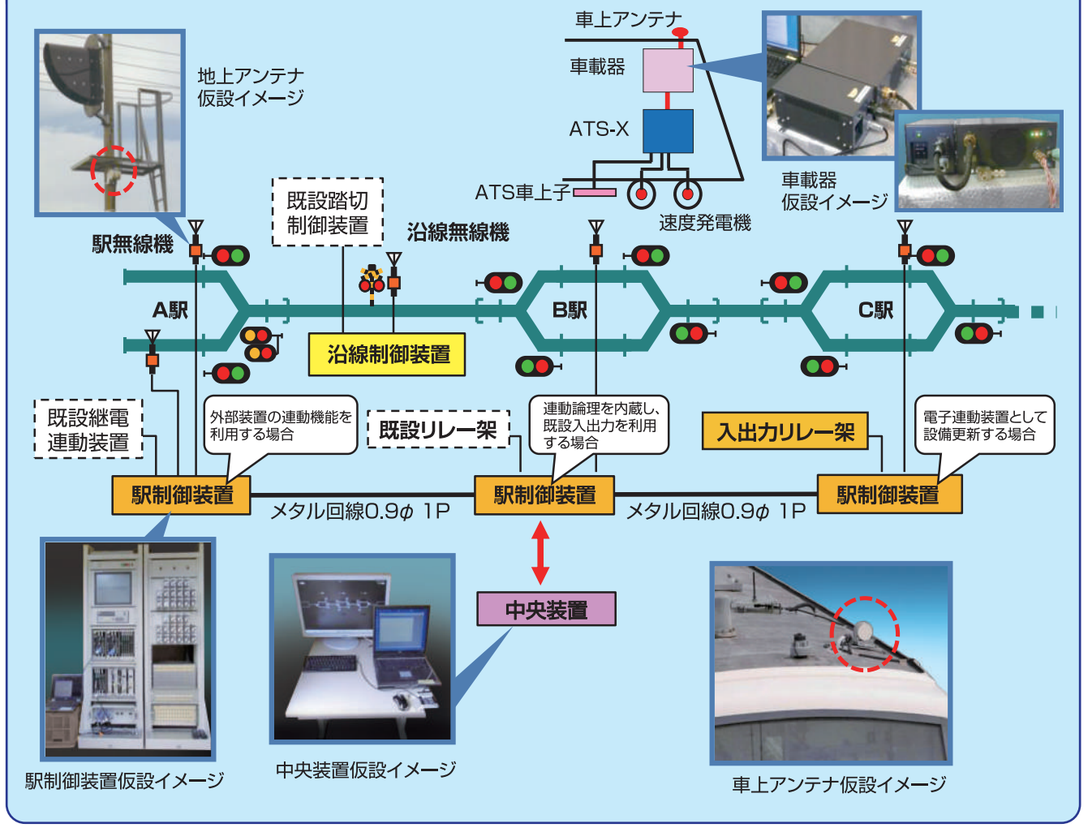

#### 踏切防護機能




《共同開発》公益財団法人鉄道総合技術研究所様

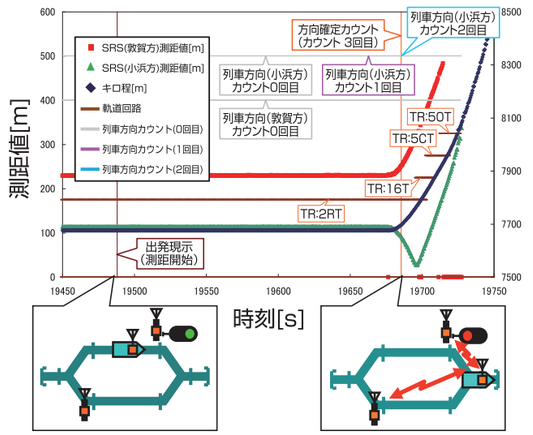


### システム構成



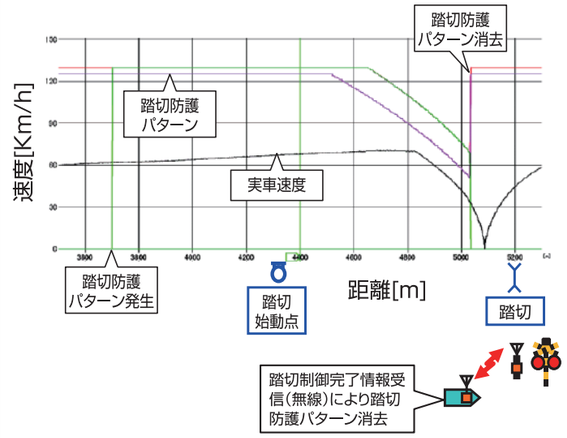

### 試験結果 (2010年秋 JR小浜線にて)

#### ①測距機能 確認試験




⇒ 測距機能による車載器IDの自動割当を確認

#### ②踏切防護機能 確認試験




⇒ パターンが正常に消去されることを確認